

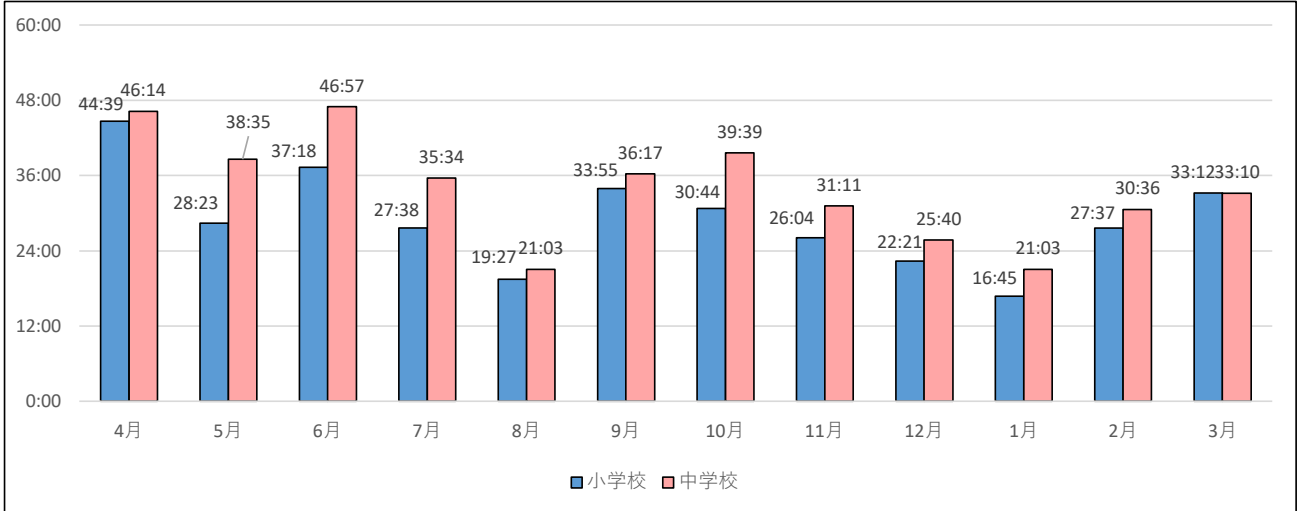
令和4年度 根室市立学校の職員に係る時間外在校等時間の状況について

- ◆算出対象期間：令和4年4月～令和5年3月
- ◆算出対象校：市立学校 13校〔小学校:7校、中学校:5校、義務教育学校:1校(前期課程を小学校、後期課程を中学校に含む)〕
- ◆算出対象職員：市費職員以外の学校職員〔校長、教頭、主幹教諭、教諭、栄養教諭、養護教諭、事務職員〕

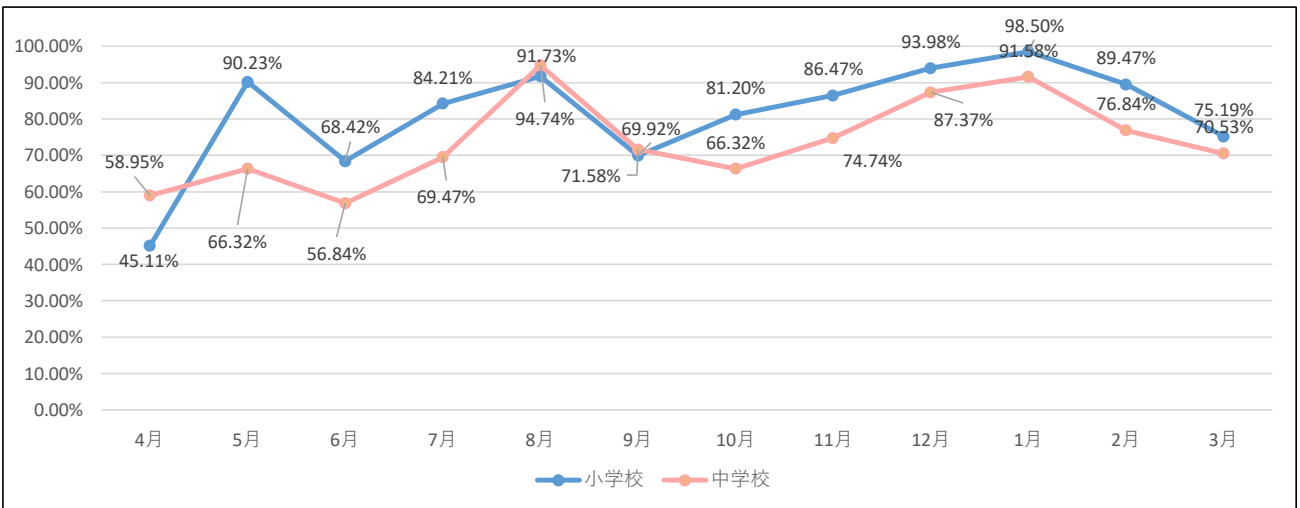
【目標値】※「学校における働き方改革のための業務改善計画(第2期)」において設定
教育職員の在校等時間から所定の勤務時間を減じた「時間外在校等時間」を
1か月で45時間以内、1年間で360時間以内とします。

1. 月別の時間外在校等時間の推移

(1) 対象職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)



(2) 時間外在校等時間が月45時間以内の対象職員の割合



2. 年間の時間外在校等時間の状況

学校種	教職員数	うち年間360時間以内の職員	職員平均在校等時間	年間360時間を超過する職員
小学校	133名	74名 (55.64%)	346:57 h	59名 (44.36%)
中学校	95名	45名 (47.37%)	400:44 h	50名 (52.63%)

※職員数には、育休等により勤務のない者は含まない。

3. 調査結果の考察と今後の取組について

- 「学校職員の時間外在校等時間(一人当たりの平均値)」について、小学校では年間を通じて、目標とする月45時間以内となっているところ、中学校では4、6月が45時間を上回っており、このことは部活動の指導時間によるもののほか、生徒指導にかかる時間が影響しているものと考えられる。
- 「時間外在校等時間が月45時間以内の対象職員の割合」について、4月は年度初めの業務、6、9、10月は行事の準備等に費やす時間が多くなるため、在校等時間が長くなっている。
- 「年間の時間外在校等時間」については、年間360時間以内を目標としているところ、目標値以内の学校職員の割合は、小学校では55.64%、中学校では47.37%となっており、昨年度(小学校60%強、中学校40%弱)と比べ、小中の差が小さくなっている。
- 今後においても「学校における働き方改革のための業務改善計画(第2期)」に基づく取組を推進するほか、各校における勤務時間の割振り変更など計画的な勤務管理を行うとともに、業務の平準化やCSの活用等により改善を図る。